

ハートリレーキャンペーン

シーテック クリック募金 2022 報告書

クリック募金開設期間:2022年6月1日~2023年1月31日

クリック募金は期間内に2万クリックを達成しました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。ご寄付は以下の5団体に配分し各活動に使わせて頂きました。2022年度に実施した活動をここにご報告致します。

(特活) 地域国際活動研究センター(CDIC・シーディック)

東ティモール民主共和国リキサ県バザルテテ郡マウメタ村にて、現地 NGO ASMAN(アスマン)をカウンターパートとしています。マウメタ村民と連携して村の共有地にある水源地の保護活動をしています。植林した木は5m以上に成長し、数も増え、保護林となっています。この林は同時に小川の水源となり、家畜の飲み水や村人の生活に大きく役立っています。

現地 NGO は自ら UNDP や環境省の支援を受け、自立してきています。水源からパイプで水を運び、水槽で魚の養殖を始めました。植林地からも近い場所です。村人の環境意識を育てる活動に取り組み、今年も新しく環境局から植林助成金を獲得しました。女性が中心になったマイクロクレジットなど次第に活動も多方面に広がってきています。

ネパール国の2015年の大震災で倒壊した小学校を訪問し、子どもたちと交流してきています。こちらでも環境意識を育てる活動ができないか考えています。



保護林の下草刈りなど手入れ作業



東ティモール支援地で小川の水源を利用した魚の養殖

ニカラグアの会

本年は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、現地を訪ねることさえできませんでした。今後、こういった状況が再度起こることも想定できますので、より再生可能エネルギーの普及を図り、他の国にあまり依存せず、また「環境保全」も進めていく事業をともに考えていきたいと思っています。

日本同様、国内資源に恵まれないニカラグアですが、周りを見渡せば活用できる物は多くあるはずで、自分たちの生活様式を見直しながら、より自律的で心豊かな生活を見つけていく、その手伝いをしていきたいと考えています。

(2枚の写真とも、ニカラグア北部の街・エステリにある夜間女性成人学校においての、2019年手作りソーラーパネル講習会の一コマ)



南遊の会

ベトナム、ホーチミン市郊外のカンザー地区で2002年から毎年実施してきたマングローブ再造林事業に参加するスタディツアーは、新型コロナウイルスの影響で今年度も行うことができませんでした。

毎月1回開催していた例会も、引き続きオンラインで実施しています。しかし、対面では参加が難しかった県外在住の役員や会員の参加が可能となり、制限された状況下での活動の可能性や、近い将来に開始されるであろう間伐作業に伴って発生する間伐材の有効利用法などについて、有益な情報収集と議論を行うことができました。

その成果として、8月には国内における間伐材利用の先進地域である岡山県真庭市

で、大学生12名が参加するスタディツアーを実施することができました。また、3月下旬には、カンザー森林管理署のスタッフと、コロナ収束後の活動方針について、オンラインでの意見交換会を開催しました。



放棄塩田での植林作業

2023年度は3年ぶりにベトナムでのスタディツアーを実施すべく、現在準備を進めているところです。

森造りには長い年月が必要です。南遊の

会は現地の森造り、さらには生態系の回復に貢献すべく、微力ながらもできる限り息の長い活動を続けていく所存です。

（認定特活）アイキャン



フィリピン全土で、約 25 万人にも及び路上での生活を余儀なくされている子どもたち。空腹や病気等に苦しみ、事故や犯罪に巻き込まれる危険に常にさらされています。そして、そのほとんどは毎日学校に行くのではなく、危険あふれる路上に行き、働くことでわずかな小銭を稼ぎながら命をつないでいます。

そうした子どもたちが、安心安全な場所で暮らし、将来的に自立した生活を送ることができるよう、アイキャンでは、身寄りがなかったり、育児放棄されたりした子どもたちを受け入れる児童養護施設「子どもの

家」を運営しています。ここでは、衣食住や学校教育だけでなく、敷地内においてモリンガの木などを含む、栄養価の高い野菜を栽培しており、情操教育の一環や、持続可能な運営を目指し、子どもたちによるガーデニング活動を行っています。育てて収穫した野菜や果物は、子どもたちもお手伝いをしながら調理して、持続可能な毎日の食事と健康への意識も育てています。

今後も、子どもたちとの活動を継続してまいりますので、引き続きお力添えの程よろしくお願いたします。



（特活）イカオ・アコ

イカオ・アコは、フィリピンボホール島、ネグロス島でマングローブの植林など環境保全活動を行うNGOです。

かつて、対象地域のネグロス島の臨海部はマングローブが豊かな土地でした。しかし、材木の利用、農地開墾や養殖池への転換

など、マングローブの伐採が継続的に行われてきたため、1950年代に13,000haあったマングローブの森は、一時500haまで減少しました。

感潮域に生育するマングローブの森は、水生動物の産卵場所、小魚や甲殻類の生息

地として重要です。また、二酸化炭素吸収量が大きいことから、近年では気候変動を緩和する効果が注目されています。

シーテッククリック募金により、おかげさまで 340 本のマングローブの苗をバラリン村にて植林することができました（苗代、運搬費や間接経費などで 1 本当たり

100 円のコストがかかります）。今後、地元住民が継続してメンテナンスを行い、森を育てていきます。

皆様一人ひとりのクリックが募金につながったことに感謝し、途上国の環境保全活動を継続していきます。今後とも応援をよろしくをお願いします。



シーテッククリック募金とは？

シーテッククリック募金WEB サイト (<http://www.ctechcorp.co.jp/bokin2022/>) より期間中に「応援します」をクリックして頂きます。1クリック=10円としてクリック数に応じて（株）シーテックが環境分野で活動する名古屋 NGO センター加盟 5 団体へ寄付します。上限金額は 20 万円です。

ご寄付 20 万円の配分について（2023 年 3 月 31 日）

- | | |
|-------------------|-----------|
| ・（特活）地域国際活動研究センター | 34,000 円 |
| ・ニカラグアの会 | // 円 |
| ・南遊の会 | // 円 |
| ・（認定特活）アイキャン | // 円 |
| ・（特活）イカオ・アコ | // 円（順不同） |

※事務手数料として寄付金額の 15%（3 万円）を頂戴しました。

特定非営利活動法人名古屋 NGO センター

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町 2-3 YWCA ビル 7

FTel&FAX 052-228-8109 E-Mail : info@nangoc.org